

# ヒューマンエラーから脱却するための「人間重視のヒューマンエラー防止法」【会場】 (4124181)

「ルール強化はもう限界」ヒューマンエラーから脱却するための「人間重視のヒューマンエラー防止法」。本セミナーは「命令でエラーを防止することは難しい、人間は内発的要因である『意欲』や『やりがい』によって動機付けされる」との理念に基づいて「人間力」を改善活動の基盤として構成しています。「ケーススタディ」や「ワークショップ」を楽しく体験しながら「人間重視のヒューマンエラー防止法」を学んでいただくと共にセミナー教材を教育にご活用いただけます。

開催日時	2024年12月2日(月) 10:00-17:00会場
カテゴリ	業務実行スキル <a href="#">ヒューマンスキル</a>
講師	関弘光 氏 (ヒューマンクオリティ・ラボ 代表、元 富士通(株) 人材開発部 シニア・レクチャラー 上級教育士(工学)) 近畿大学工学部経営工学専攻を卒業し、富士通(株)入社。品質検査部門、教育訓練部門を経てシステム開発部門において通信・金融・官公庁等のシステム開発マネジメントに携わる(途中、企業工学研究所主任研究員)。近年、品質問題を抱える本部組織の品質改善に従事し(注冊部長、品質保証部長)、S1分野で日本初のCMMI+レベル5を達成。社長賞と最高品質賞を受賞。定年後も継続し、同社人材開発部門において「わくわく」元気盛る品質改善講座を開講。多くのマネージャーおよびリーダーの品質改善プロフェッショナルを育成。2011年、富士通を退職。その後、「人間力醸成」を基盤とした各種セミナー・講演・企業研修・コンサル等、3万人以上の方々への指導を行っている。 ■著書：『人間重視の品質マネジメント ソフトウェア品質保証システムの構築と実践』(SRC)；堀田 隆美、関 弘光、宮崎 幸生。 ■発行企業開発発行「工場管理」2018年2月号に掲載の「人間重視のヒューマンエラー防止法」についての特記記事が掲載。 (注)CMM：世界的に著名な改善モデル Capability Maturity Model and CMM&CMMI are registered in the U.S. Patent and Trademark Office.
参加費	JUAS会員/ITC：35,200円 一般：45,100円(1名様あたり) 消費税込み、テキスト込み 【受講権利数1枚】
会場	※2024年4月より移転しました※一般社団法人日本情報システム・ユーザー協会 (NBF東銀座スクエア2F)
対象	人間を主体にした作業や運用に従事している方、リーダー、マネージャー、品質管理担当者、人材育成担当者、組織的な改革に携わっている方など <a href="#">詳細</a>
開催形式	講義、グループ演習
定員	25名
取得ポイント	※ITC実践カポイント対象のセミナーです。(2時間1ポイント)
ITC規定時間	6

## 主な内容

### ■受講形態

会場のみ（オンラインなし）

### ■テキスト

当日配布

### ■開催日までの課題事項

特になし

”ルール強化はもう限界”

ヒューマンエラーから脱却するための「人間重視のヒューマンエラー防止法」

### ◆受講後の修得知識

- 1) ヒューマンエラー防止のための「仕組み考案のコツ」
- 2) 「人間力醸成法」
- 3) 「リスクマインド醸成法」
- 4) 「品質&改善マインド醸成法」
- 5) 「全員参加型改善活動の実践法」
- 6) 「具体的な導入方法」

### ◆セミナー内容

#### 第1章 ヒューマンエラーと人間重視

1. 1 ヒューマンエラー防止活動の基盤
  - 1) ヒューマンエラー防止活動と「価値観の認識」
  - 2) 人間のタイプと改善活動
1. 2 ヒューマンエラー防止と本セミナーの主張
  - 1) 何故ヒューマンエラーが繰り返されるのか
  - 2) エラーが起きる前にやるべき効果的防止法

#### 第2章 失敗を繰り返さないための「人間力の醸成」

2. 1 「失敗の構図」と「品質問題の発生」
2. 2 人間重視と人間力の醸成
  - 1) 人間重視の品質改善
  - 2) 「わくわく」感と人間力醸成の構図
2. 3 ヒューマンエラーとコミュニケーションの向上
  - 1) 演習1「トラブルと人間関係」
  - 2) 「心理学的な知恵」と人間関係の向上

#### 第3章 ヒューマンエラー防止のための「動機付け」ケーススタディ

3. 1 人を動かす仕組み考案のコツ
  - 1) 「人を動かす仕組みの考案」
  - 2) 「人間重視型思考パターン」
3. 2 「動機付けする」ケーススタディ
  - 1) 演習2：「人を動かす再発防止計画」
  - 2) 人を動かす「再発防止計画1」

#### 第4章 エラー防止のための「リスクマインド醸成」ワークショップ

4. 1 簡単にできる「問題発生防止」
  - 1) 「ヒューマンエラー防止」と「リスク管理」
  - 2) 「管理者と現場の乖離」を踏まえた「仕組み考案」
  - 3) 演習3：「ヒューマンエラーとリスク管理」
4. 2 「リスクマインドの醸成」と「リスク管理の仕組み」
  - 1) 「リスク意識の高い集団」と「リスクマインドの醸成」
  - 2) 人を活かし動かす「リスク管理」の仕組み事例
  - 3) 人を動かす「再発防止計画2」

#### 第5章 エラー防止のための「品質&改善マインド醸成」ワークショップ

5. 1 エラーを防ぐ「品質&改善マインドの醸成」
  - 1) 「品質&改善マインド」の醸成事例
  - 2) 演習4：「ヒューマンエラー防止と改善提案」
5. 2 「わくわく」感を生み出す「全員参加型改善活動」
  - 1) 「全員参加型改善活動」の仕組み事例
  - 2) 「改善意識の高い組織」と「全員参加型改善活動」
  - 3) 人を動かす「再発防止計画3」

#### 第6章 失敗を繰り返さないための「具体的な実践方法」の勧め

#### 第7章 実践に向けての「動機付け」

#### 第8章 「実践に向けてのご質問」と「エール」

(注) ケーススタディやワークショップを体験いただき、現場で即、役立つ内容にしたいと考えております。

\*\*\*\*\*

#### ■受講者の声：

- 目から鱗が落ちる思い、エラー対策を行ってきたが作業者がやる気をなくした状態だった。
- セミナーによりいかに相手のやる気を出させるか、不平、不満の改善等にたどり着くことができた。ちょっとだけ相手の立場に寄り添う等、今日の朝礼から早速実践。とても良い内容だった。
- ヒューマンエラーは半ば「諦めの課題」だった。今回ようやく受講でき、お話を伺い、明日からの業務に活かすことができると思った。